

第21回 人権フェスタ in 丹波篠山

【メインイベント】

とき 12月9日(土) 13:00～16:00
ところ 田園交響ホール
内容 あいさつ運動啓発ポスター・人権作文受賞者表彰／人権作文朗読発表／第25回丹波篠山市人権・同和教育研究大会
 14:00～
基調講演 演題「誰もが輝いて生きるために」
講師 坂田 かおりさん
 (部落解放・人権研究所理事/人権テイク・ルート代表)



【作品展示】

とき 12月5日(火)～10日(日) 8:30～17:15
ところ 市役所本庁舎・1階市民ホール
内容 感謝の手紙／あいさつ運動啓発ポスター／体験型人権学習活動支援事業／各種団体によるパネル等の展示

問い合わせ 人権推進課 ☎552-6926



訓練の様子



参加者



車イスの操作



毛布担架

誰ひとり取り残さないための避難訓練(10月29日)

味間奥自治会で、市が進める「誰ひとり取り残さない避難訓練」が実施され、120人が参加しました。1人での避難が難しい方が安全に避難できるように、本人や家族、ケアマネジャーなどの福祉の専門職が、近所の方と一緒にその人に合った避難の方法を事前に考え、避難訓練に備えました。車イスが必要な南里夏雄さんは、「近所の支援経験のある方が一緒だったので心強かった」と話し、近所の方と無事に訓練に参加されました。参加者は声を掛け合いながら避難した後、災害時に役立つ毛布担架の作り方や車イスの操作方法などを楽しく学びました。

ANAグループが黒枝豆の収穫作業(10月16日)



泉地区で黒枝豆の収穫や出荷作業を手伝わされたANAグループの皆さん。これは地域貢献活動の一環として、(株)小田垣商店と協同で行われたもので、今年で3年目。社員の皆さんは、いずみ営農組合の方々に手ほどきを受けながら、黒大豆の刈り取りや葉落としが行われました。

ワラワラ市からの市民訪問団(10月12日～23日)



米国・ワラワラ市との姉妹都市提携50周年を記念し、ワラワラ市から市民訪問団が訪れました。訪問団の皆さんは市内でホームステイをしながら、丹波焼作陶体験や黒枝豆の収穫、茶道・書道・高校訪問などを通じて、丹波篠山との国際交流を深めました。

特産「山の芋」収穫最盛期(11月6日)



特産「丹波篠山の芋」が収穫の最盛期を迎えています。倉本地区・井貝敏夫さんの畑でも収穫が行われ、一つ一つ丁寧に掘り出されました。「記録的な暑さのため、水の管理には非常に気を使いましたが、今年も丸い形の芋が収穫できました」と笑顔で話されました。

小学校教育功勞者に対する感謝状(10月27日)



前丹波篠山市教育長前川修哉さんが、文部科学大臣より小学校教育功勞者に対する感謝状を授与されました。城東小学校初代校長なども務め、これまで教育活動を推進してきた前川さん。「応援してくれた人に感謝を伝えたい」と笑顔で話されました。



菊花展(11月1日～15日)

今年も大手前南駐車場で「菊花展」が開催されました。多種多様な菊が展示され、なかでも「お苗菊」という種類は苗を市から持ち出せないことから、他の地域には伝わっていない市限定の菊となっています。今年、青山賞を受賞された岸田士郎さんによると、お苗菊は菊の中で数少ない「芸」をする(開花につれて花がさまざまに変化する)花だそうです。また、近年お苗菊を育てる人が少なくなっている中、今年も篠山小学校や城北畑小学校の子どもたちが栽培に協力され、きれいな菊を展示しました。



芸をするお苗菊

この記事の原稿と写真を担当しました



インターンシップ (職業体験)

篠山産業高等学校 2年 西出大和さん